

2005/6/15

(株)日立製作所エンタープライズサーバ事業部

## saldm.exe サービスで CPU 使用率が 30% ~ 100%になる不具合の件について

### 1. 現象

下記の HA8000-ie/NetStorage240、HA8000-ie/NetStorage220 において、saldm.exe サービスで CPU の使用率が 30% ~ 100%になる問題が発生する場合があります。

ハード： HA8000-ie/NetStorage240

形名：GJYNS249-GPNN1N0

GJYNS24A-GPNN1N0

HA8000-ie/NetStorage220(240GB モデル)

形名：GJYNS229-FJNN1N0

GJYNS22A-FJNN1N0

HA8000-ie/NetStorage220(500GB モデル)

形名：GJYNS229-FMNN1N0

GJYNS22A-FMNN1N0

ソフトウェアバージョン：

NS240-S18Q-00、NS220-S18Q-00

NS240-S18Q-01、NS220-S18Q-01

NS2x0-S18Q-02(GJNYS2x9)、NS2x0-S18Q-02(GJNYS2xA)

### 2. 原因

saldm.exe サービス(Server Appliance Local Display Manager Service) は、装置前面の LCD画面を制御するためのマイクロソフト社のソフトウェアです。これは、装置前面のLCD画面を構成するハードウェアおよびデバイスドライバと連動することを想定しており、これらが無い場合は正しく動作することができません。一方、NetStorage240、NetStorage220には装置前面のLCD画面は付いておりません。

これによって、システムの起動時には、saldm.exeサービス単体のCPUの使用率が数%以内ですが、ある契機により高負荷になったままの状態になる場合があります。本現象は、装置前面にLCD画面が無い装置においてsaldm.exeを起動していたことが原因です。

### 3 . 対策方法

下記手順により、saldm.exe サービスを停止させます。なお、下記手順は、システム装置に接続されたキーボード、ディスプレイ、マウスを使用し、NetStorageのローカルで作業を行ってください。

#### 3 . 1 事前確認

以下の手順にて、saldm.exe サービスで CPU の使用率が数%以内であることを確認してください。

- (1) タスクバーの何もない部分を右クリックし、[タスクマネージャ]をクリックします。
- (2) [プロセス]タブを選択します。
- (3) [イメージ名]一覧内の “saldm.exe”の[CPU]数値が数%以内であることを確認してください。

CPU 使用率が 30% ~ 100%になっている場合には、[3 . 2 対策手順]を行う前に必ず再起動を行ってください。

#### 3 . 2 対策手順

下記 URL から、NS2x0-S18Q-03(GJNYS2xA) 、NS2x0-S18Q-03(GJNYS2x9)以上の HA8000-ie/NetStorage240,220 ソフトウェアアップデートパッチをダウンロードし、適用してください。

<http://www.hitachi.co.jp/cgi-bin/products/ha8000/cgi-bin/dlserch/dlserch.cgi>

OS の再インストールを行った際には、再度、本体策が必要になります。

以上